

## 世界に誇れる極上の会津米づくり

「目指そう 今年も特A 会津コシ1等米 100%」

# 両沼地方米づくり情報 第2号 平成27年5月20日

発行：JA会津みどり営農部・各総合支店、会津坂下農業普及所・金山普及所

### 1 今後の気象予報について

◎東北地方1か月予報(平成27年5月14日仙台管区气象台発表情報より抜粋)

天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が多い見込みです。

向こう1か月の平均気温は、高い確率50%です。降水量は、平年並または少ない確率ともに40%です。日照時間は、平年並または多い確率ともに40%です。

田植え後は平年より気温が高く経過するようです。ノビエ等雑草の発生、イネアオムシ等の害虫の発生も平年より早くなることが予想されますので、しっかりと対策しましょう！

### 2 害虫対策について

#### (1)イネアオムシ(フタオビコヤガ)

本年は、田植え以降もしばらく高温が続くことが予想されますので、イネアオムシの発生も平年より早まることが予想されます。本田で被害が見られた場合は、かすり状の被害が見られる頃に表1を参考に防除を実施しましょう。

表1 イネアオムシの登録のある薬剤(例)

薬剤名	使用方法	使用量(/10a)[希釈水量]	使用時期
MR.ジョーカー粉剤DL	散布	3 kg	収穫7日前まで
スミチオン乳剤	散布	2,000~4,000倍[60~150L]	収穫21日前まで

#### (2)マイマイガ対策について

水稲の害虫ではないため、登録のある農薬はありません。水田において被害が大きい場合、イネアオムシ(フタオビコヤガ)との同時防除として表1を参考に薬剤防除を実施しましょう。

### 3 除草剤の使用について

表2より、平年と比較して、本年は日平均気温で平均3℃以上高い気温で経過しており、5月下旬にかけてもこの高温傾向は続く見込みです。

一般に水田でのノビエの発生は、代かき(植代)後の積算気温で100℃程度から発生がはじまります。本年は平年より2日以上発生開始が早まることが予想されますので、時期を逃さないよう除草剤を散布しましょう！

表2 日平均気温とノビエ発生開始予想

	日平均気温	代かきからノビエ発生開始まで(予想)
本年	17.5℃	5日
平年	14.7℃	7日
差	3.1℃	2日早い

※若松アメダス5/1~5/16のデータ使用

#### (1)初期剤+初中期一発剤体系の場合

田植え後に初期剤を散布する場合は、田植え後できるだけ早く散布しましょう。使用時期は、「移植直後~ノビエ1葉期まで」のものが多く、「ヒエが生えてきたのを確認してから」では手遅れの場合もあります(図1参照)。

## (2) 初中期一発体系の場合

「移植直後」から使用できるものと、「移植後 3 日～」または「移植後 5 日～」のものなど、剤によって使用できる時期が異なるので注意が必要です。

ノビエに対する効果は、「～ノビエ 2.5 葉期」のものが多いです(図1参照)。

遅くとも代かきから 10 日以内に初中期一発剤を散布しましょう。

**初中期一発剤で防除できるノビエはこのくらいが限界！**

**初期剤で防除できるノビエはこのくらいが限界！**

展開終了時の大きさを予測して10等分し、葉齢を判断しましたが、この場合2.5葉期

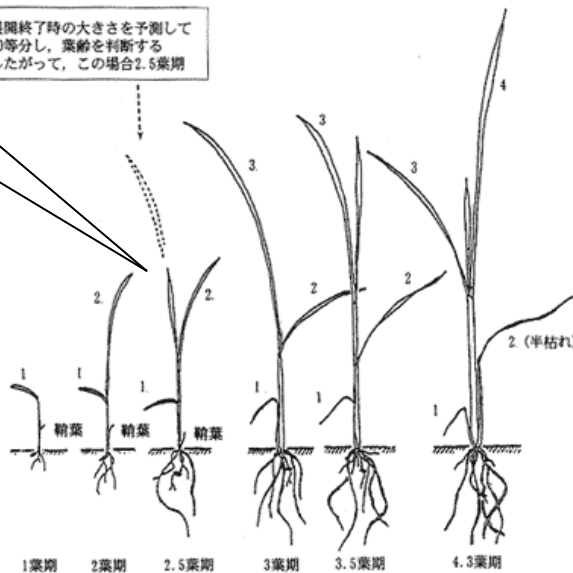


表2 主な除草剤の種類

初期剤	初中期一発剤	中期剤・後期剤
ソルネット	トップガン	クリンチャー
キルクサ	ボデーガード	ヒエクリーン
ピラクロン	ビクトリーZ	バサグラン
など	センイチ	フォローアップ
	など	など

図1 ノビエの葉齢

## ◎ 除草剤をうまく効かせるポイント

- 散布後は最低 1 週間は落水や掛け流しをしないこと！  
→ 処理層ができる前の落水は処理層形成が妨げられ、十分な効果が得られません。  
→ また、河川等への除草剤の流出により環境の汚染につながります。
- 極端な浅植えや除草剤散布後の補植作業を行わないこと！  
→ 極端な浅植えや処理層の上からの補植作業は薬害が懸念されますのでやめましょう。  
→ 処理層形成後の補植作業は処理層を壊す要因にもなりますので注意しましょう。

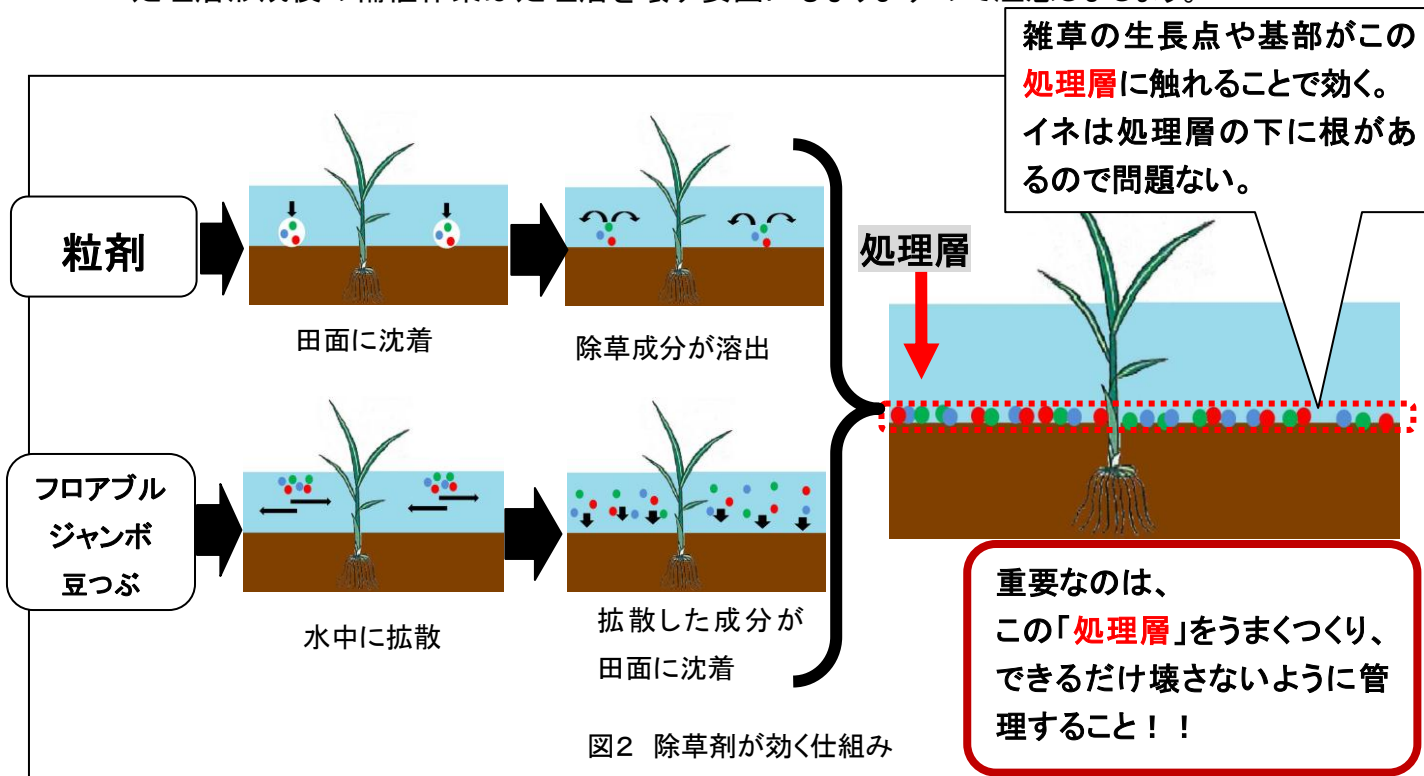


図2 除草剤が効く仕組み